

障がい福祉瓦版

2人と1匹(?)が歩む共生社会への道

■問い合わせ先

下野市障がい者相談支援センター

☎(37)9970

第二步 障がい者相談支援センターって？

(毛) さてさて、無事に第2回目を迎えましたね。

(鈴) 何だか初回到にエネルギーを注ぎすぎちゃって・・・。

(毛) 市民の目がここに向けられていると考えると何から伝えたらよいのやら。マズイ・・・。なんだか今になって事の重大さに気付いてきましたよ。

(ゆ) あんた達！何言ってるのよ！まだ何もしてないじゃん！

(鈴・毛) ゆ、ゆうぼん！

(ゆ) そもそも、あなた達がいる「障がい者相談支援センター」ってというのは何なのよ？ちっとも説明がないじゃない。

(毛・鈴) 確かに！

(鈴) 簡単に言うと、相談窓口ってことですかね。

(毛) うん。そうだね。窓口ってというのがポイント。

(ゆ) よくわからないなあ。例えばどんな人が相談をする場所なの？

(鈴) 読んで字のごとく、障がいのある方やその家族が多いよね。

(毛) あとは、民生委員さんとか学校の先生とか。地域住民の方からの相談もあるね。

(鈴) 改めて考えると、年齢を問わず、「障がいのある方に関わるすべての方」が対象と言えるかもね。

(ゆ) どんな人が相談に来るのかはなんとなく分かったけど、みんなどんなことを相談しているの？

(毛) まあ、今まさに困っていることかな。

(ゆ) なんだかぼんやりね。

(鈴) でも本当にそうなんだよね。なぜそのことで困っているのか、困っていることを解決してその先はどうしたいのか。それを丁寧に聞かせてもらいながら、解決の糸口を一緒に探す作業をしている感

じだよ。

(ゆ) へー。でも困っていることなんてみんな違うんじゃない？年齢や生活している環境によっても違うだろうし。あなた達がそれらにすべて対応できるとは到底思えないんだけど？

(鈴) (な、なんて口の悪い妖精なんだ) 確かに僕らだけでは難しいこともあるよ。だから地域の色々な人たちと協力をしながら取り組んでいるんだ。

(毛) さっき窓口と言ったのはそういう意味だよ。まずは僕らが話を聞く。そこでその人が抱える課題を整理しながら、解決する為の手立てを一緒に考える。場合によっては他の機関を紹介することもあるんだよ。

(ゆ) なるほどね。確かに地域の色々な人たちが協力してくれてっていうのは心強いわ。ところで、具体的にはどんな内容の相談があるの？



もろ たかひろ

すずき ひさや

(毛) (キツツイなあ。ゆうぼんって本当に妖精なのか?) それこそ相談の内容は人それぞれ。詳しく説明をしたいところだけど、そのあたりはまた次回ということで。

(ゆ) 仕方ないわね。待ってあげてもいいわ。

(毛) (このやりとりクセになりそう♡)

メンタルヘルスボランティア養成講座を開催します

心の病気について理解を深め、精神障がい者に寄り添うことを目的として開催します。

どなたでも参加できますので、心の病気について学びたい方、ご家族や友人等、身近に精神障がいのある方がいらっしゃる方、ぜひご参加ください。

■場所 保健福祉センターゆうゆう館

■日時

7月5日(木)、8月23日(木)

8月30日(木)、9月13日(木)

午後1時30分～3時30分

■対象者

市在住の方で4回すべてに参加できる方。

■定員 20名

■参加料 無料

■募集期間

6月1日(金)～27日(水)

■申し込み・問い合わせ先 社会福祉課

☎(32)89000

☎(32)86001

FAX(32)86001